

MPI TS3500-SE | ShieldEnvironment™付300 mm オート・プローブシステム

超低雑音IC/CV、パルスIV、RF測定用オート・プローブシステム

フルオート用オプションWaferWallet®搭載可能

顕微鏡および顕微鏡オプション

- 堅牢なプログラブル顕微鏡ブリッジ・マウント (50 x 50 x 140 mm)
- さまざまな顕微鏡より選定可能 (最大12倍光学ズームのMPI AMZ1単眼鏡筒、iMAG® デジタル顕微鏡など)

マイクロポジショナ

- 最大RF 4台またはDC 8台まで搭載可能
- さまざまなマイクロポジショナより選定可能 (プログラマブル、ミリ波用、レーザー・ポジショナなど)
- 同軸/トライアキシャル/ケーブル・ロープ・アームをご用意
- 4.5インチ プローブカード・ホルダ (標準および長期測定のための専用PCH)

プローブプラテン

- 高剛性、安定設計
- RFポジショナ用角型調整器
- エアークーリング機構内蔵の優れた熱安定性設計

ShieldEnvironment™

- 優れたEMI/RFIシールド、遮光環境により、高精度な1/fノイズ測定を導き出すことが可能
- fALレベルの低リーク測定が可能

一体型防振台

- 高性能防振機構
- 作業効率を最大限に引き出す高さ設計

MPI WaferWallet® (オプション)

- ウエハトレイ5台搭載
- 150/200/300 mmウエハ対応
- 高温/低温時でもウエハの交換が可能
- 4色LED信号灯 (点灯/点滅)
- オプション: 自動プリアライナーおよびウエハIDリーダー



ERS社/MPIの共同開発のAirCool® PRIMEチャックは「Test, Measurement and Inspection Product of the year」部門にて「Electronics Industry Awards 2018」を受賞しました

プローブシステム制御用ソフトウェアSENTIO®

- 簡単で直感的な操作、画期的なマルチ・タッチ式コントロールによりトレーニング時間を大幅に削減
- スクロール、ズーム、ムーブコマンドはスマートフォンの操作と似ているため誰でもすぐに操作が可能
- 現在使用中のアプリケーションから他のアプリケーションへの移動は指をスワイプするだけで可能
- RF校正用ソフトウェアQAibria®はSENTIO®と完全統合されて、同じコンセプトのもとに設計されており簡単に使いこなすことが可能
- リモート制御用GPIB、TCP/IPインターフェース

RFキャリブレーション

- RF校正基板用に2つの補助チャック
- THz周波数帯域までの測定を実現するセラミック材質
- 平坦度1 μm (高コンタクト精度)

ハードウェア・コントロール・パネル

- より早く/安全/簡単にプローブシステムを制御できるようコントロールシステムを集約
- キーボードおよびマウスはプローブシステム、計測器ともに操作可能、操作しやすい位置に配置

AirCool® PRIME 温度チャック

- MPIとERS社が共同設計したPRIME™シリーズはソーキング時間、遷移時間を削減
- 広温度範囲に対応 (-60℃~300℃)、さまざまな温度範囲に構成可能
- オペレーターの操作しやすいシステム前面に設置
- チラーをプローブシステム本体に設置することにより省スペース設計
- チラーの使用済ドライエアを再利用することによりCDA消費量を30~40%削減

*** オプション ***

- 測定器用トレイの設置により高周波ケーブルを短くし、測定をより確実なものに